

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年10月15日(2015.10.15)

【公開番号】特開2014-48382(P2014-48382A)

【公開日】平成26年3月17日(2014.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-014

【出願番号】特願2012-189821(P2012-189821)

【国際特許分類】

G 0 3 B	7/00	(2014.01)
H 0 4 N	5/225	(2006.01)
H 0 4 N	5/232	(2006.01)
G 0 3 B	17/18	(2006.01)
G 0 3 B	17/02	(2006.01)
G 0 3 B	17/00	(2006.01)
H 0 4 N	101/00	(2006.01)

【F I】

G 0 3 B	7/00	Z
H 0 4 N	5/225	A
H 0 4 N	5/232	Z
G 0 3 B	17/18	Z
G 0 3 B	17/02	
G 0 3 B	17/00	Q
H 0 4 N	101:00	

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月26日(2015.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

ステップS501の後のステップS502では、システム制御部210は、タッチパネル106にタッチダウンが行われたか否かを判定する。システム制御部210は、タッチダウンを検出した場合(S502でYES)、処理をステップS503へ進め、タッチダウンを検出しない場合(S502でNO)、処理をステップS518へ進める。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

コンピュータを請求項1乃至8のいずれか1項に記載された表示制御装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 11】

コンピュータを請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載された表示制御装置の各手段として機能させるためのプログラムを格納した、コンピュータが読み取り可能な記憶媒体。